

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立金岡北中学校
校長 小林 三佐子

中学校区におけるめざす子ども像 主体的に学び続ける子
①自ら進んで、行動・実践・省察することができる力 ②他者となつたり、共感・協働できるコミュニケーション能力 ③失敗を恐れず、チャレンジする力 の育成をめざす

令和6年度 重点目標 保護者・地域とともに『自ら学ぶ力』をはぐくむ学校づくり～生徒が自ら学習課題をつかみ、主体的に課題解決する力をはぐくむために～家庭学習の習慣をはぐくむ学習づくり～主体的に課題解決する力を家庭学習につなげるために～

<p>「確かな学び」の現状 本校では、基本的な生活習慣の確立を基盤としうえて、学級・学年での班活動を通じた集団づくりや行事等で異年齢集団を大切に部活動単位の役割による集団づくりを大切にしている。これらの取組の成果により、生徒一人ひとりの役割への責任感や達成感につながり、静謐な教育環境が維持されている。また、生徒の「学力向上」に向けて「生徒が自ら課題をつかみ、主体的に課題解決する力をはぐくむ」を研修のテーマに掲げ、継続的に取り組んでいる。特に、全教員が「堺版 授業スタンダード」に基づき、『自ら学ぶ力』を柱としている。その中で、昨年度は、CBT 調査の追加項目で現在の授業について生徒からの意見を調査した結果、生徒がめあて等を意識していることや「自ら学ぶことは楽しくやりがいがあると感じている」に肯定的な回答が約80%あったことから、さらに今年度も、授業全般で ICT の効果的な活用をするとともに、ふりかえりして ICT の活用を行い、家庭学習につなげていき、「確かな学び」を深めていきたい。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状 「豊かな心」に関しては、生徒会役員・学級代表の積極的な『あいさつ運動』により、学年を越えた学年間の関わりが深まった。また、3年間を見通した『人権教育や道徳教育』を通し、「違いを認め合う心」「他人を思いやる心」を育成することやジェンダー平等教育の観点から踏まえた『思春期教育』を、毎年全学年で、発達年齢に応じたテーマで取り組みを継続している。また、生徒指導については、生徒が教員に何でも話せる環境づくりとして、学期始めの教育相談や学期の後半の「いじめ・学校生活アンケート」の実施後に生徒の状況を把握し、生徒の状況を生徒指導委員会・職員会議・学年会議等で全教職員が共通理解を図り、一人ひとりに状況にそって関わりを継続している。「健やかな体」においては、本校の生徒は、体育の授業や体育大会・クラスマッチ等の様子から進んで運動に取り組む生徒が多いことが伺える。新体力テストの結果では、平均値から見て、特に、「上体おこし」「長座体前屈」は大きく向上した。体育の授業では、全生徒に対して、年度始めの新体力テストの計測結果から自分の課題を知り、意識して取り組むべきところを考えさせていることが体力の向上に繋がっていると考えられる。今後も部活動と合わせて取り組みを継続したい。</p>
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本	全教科で生徒の実態に即した指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年で英語・第2学年で数学の習熟度別少人数授業を実施する。 ★授業の中で、自分の考えを友達や教員と意見交換する場を通し「わかる喜び」実感させる。 ●各教科で作成する「to do リスト」やテスト計画表を活用する。各教科から定期的・継続的な課題を発信し家庭学習の習慣を身につける。 ★家庭学習で授業をふりかえり、自分の課題を理解し、改善できるよう努める。 	<p>授業中の様子やふりかえり場面での発言や話し合い、ノート・プリント・感想等に書かれたことを見て理解度や身についた力を確認する。</p> <p>全教科で「to do リスト」を作成する。定期考査時のテスト計画表に自分の計画や学習したことを記入する。各教科から発信されたものを定期的・継続的に家庭で学習しているかをワークやプリントを見て確認する。</p>	実践報告	年度末	○	自分がその授業でわかったことを各授業のふりかえりの時こまめ、より学んだことを自分で確認できるようにしている。	○	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年で英語・第2学年で数学の習熟度別少人数授業を年間通じて実施した。授業中の学び合いの場面では、自然に友達と意見交換を行えるようになった。その日の気づきをノート・プリント・タブレットに自分の言葉で書けるようになった。★全教科で「to do リスト」を通して、授業のルールを共有し、テスト前にはその日にやったことを計画表にまとめることができた。★本校独自の『家庭学習の手引き』の作成し2月に配付した。
	授業力向上	「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業の工夫改善を行い、生徒の「自ら学ぶ力」を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●「堺版 授業スタンダード」を軸にして、学び合い・教え合いの機会を増やし、自ら学びを進める授業づくりに取り組む。 ●各教科の実情に応じて、ICT を効果的に活用し、知識を広げ、深い学びにつなげる。 ●学年や教科担当で相互授業見学をし、意見交換を行う。 「金北スタンダード」の共通理解を教員間で図り、静謐な学習環境を教員と生徒とともに作り上げることで、授業力および学力向上に努める。 ★学期のはじめや終わりおよび行事の際に、自分自身の思いや考えを文章で表現し、周りの友だちや先生に伝えたり共感したりする機会をつくる。 	<p>●全教員が ICT を効果的に活用するとともに「堺版 授業スタンダード」に基づいた授業を実践し、アンケートで実践状況を確認する。</p> <p>●「金北スタンダード」を全教員が実践する。</p> <p>●生徒が登校後、または必要に応じてタブレットの用意をし、各授業で活用する。</p> <p>●自分の考えや気づきを表現する機会を年6回以上設ける。</p>	実践報告	年度末	○	全教職員が「堺版 授業スタンダード」に基づいた授業を実践している。研究授業班を作り、そのメンバーの授業を観て意見交換を行うとともに授業シートにまとめ、授業者に渡した。全員のシートを全教職員で共有し、研修に生かしている。	○	<ul style="list-style-type: none"> ●「堺版 授業スタンダード」に基づいた授業実践とともに、より一層効果的に ICT を取り入れた授業が行えるよう、ICT の活用能力向上をめざして小中教職員夏季研修を行った。朝の学活でタブレットを準備し、全教員が授業の中で効果的にタブレットを活用している。 ●教員一人ひとりが『自ら学ぶ力』をはぐくむ授業づくりができてきたか、生徒のテスト結果だけでなく、授業ノートの記入やふりかえりの場面での発表、また、提出物の率や独自アンケートで生徒の様子をまとめ、生徒が主体的に授業に取り組んでいることがわかった。
						実践報告	年度末	○	行事等で様々な体験を行った時に「ふりかえりシート」を活用し、自分の新たな気づきを自分の言葉で記入している。	○
豊かな心・健やかな体	生徒指導・人権教育	自他ともに認めあい、自尊感情を高め豊かな心を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な場面で生徒会・学級代表が主体的に企画・運営をし、リーダーを育成するとともに、生徒同士が認めあえる集団づくりを行う。行事の実行委員会を立ち上げ、生徒が役割を持ち主体的に活動する。●生徒会・学級代表・教員で「あいさつ運動」を行う。●教育相談を行い、生徒の実態を把握し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。 ●今年度のテーマである「多文化共生社会の形成者をめざした人権学習や道徳学習を通して、生徒が他者の人思いやる心を持ち、さらに規範意識・判断力を身につける。★学習を通して自分の将来に結びつた行動できる。 	<p>アンケート調査で肯定的な回答が80%以上ある。</p> <p>計画の100%実施する。アンケート調査で肯定的な回答が80%以上ある。実施後のふりかえりシートを記入する。</p>	学校アンケート 学校生活アンケート	年度末	○	<ul style="list-style-type: none"> ●学校・学年行事では、生徒の役割を明確にし、生徒だけでできるよう当日までに生徒との打ち合わせ会を設け、責任をもって果たせるようにしている。また、実行委員会を立ち上げて企画から生徒が行っている行事もあり、生徒が自分の意見を言える環境を作り、リーダー育成に結びつけている。 ●「あいさつ運動」を毎日行っている。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●クラスの学活等で、生徒が自分たちの考えを出し合い、みんなの意見をまとめて発表をする場面を意図的に設定してきた。さらに、学校・学年の行事においても、役割をつくり、生徒がやりたいことをもとに目標やテーマをつくり生徒の気持ちを高めてきた。行事ごとにリーダーの存在が見えた。 ●生徒会役員や学級代表が、朝、通用門で「あいさつ運動」を行い、生徒同士のコミュニケーションの場として効果的だった。 ●人権教育(国際理解教育・思春期教育等)・道徳教育を計画通り行った。実施後のふりかえりシートの様子で生徒の学びを知れた。
	体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい生活習慣を身につけ、心身の増進を図る。 ●安全面に留意して運動に取り組む姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新体力テストの結果により、自分の課題を発見し、課題解決や体力向上のために、体育の授業の工夫や改善に努める。 ●補強運動やストレッチの継続的な取組により、運動習慣の確立や運動への興味関心を高める。 ●部活動を通して、異年齢との交流や生徒同士・生徒と教員の人間関係を深めながら、部活動ごとの目標や体力の向上に向けた取組を行う。 ●「生活習慣振りかえり期間」を設定し、望ましい生活習慣への興味関心を高め、身につける機会をつくる。また、全教職員で、「生活習慣振りかえりシート」の結果を考察し、改善できるよう努める。 	<p>●学年ごとの役割や一人ひとりの役割を明確にし、主体的に活動できるようにする。 ●学期毎に「生活習慣振りかえり期間」を実施する。 </p>	体育ノートの状況 今年度の新体力テストの結果	年度末	○	<ul style="list-style-type: none"> ●体育の時間の準備体操(ラジオ体操第二)の後、筋力トレーニングやストレッチを継続して行っている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の新体力テストの結果を知り、経年比較をしながら自分の特技や課題を知り、次の目標につなげた。 ●部活動を通して、異年齢との交流や生徒同士・生徒と教員の人間関係を深めながら、部活動ごとの目標や体力の向上に向けた取組みを行った。 ●夏・冬休み後に「生活習慣振りかえり期間」を設定し、望ましい生活習慣への興味関心を高めた。また、全教職員で、「生活習慣振りかえりシート」の結果をもとに、改善できるよう検討した。
	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> ●校区小学校や地域との連携を密に、小中一貫教育推進体制をより深める。 ●学校情報の積極的な発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★小学生の中学校授業体験や中学校紹介、部活動見学、体験を実施し小中の連携を深める。 ★校区の現状を把握するために情報交換を積極的に行い、課題解決に向けて小中教職員合同研修や授業交流会を実施する。 ●校区小学校に給食の見学に行き、次年度以降スムーズに導入できるように情報交換を行う。 ●生徒会、各種委員会、教員で、「校外地域清掃」と「あいさつ運動」を行う。●生徒、教員ともに3校区の行事等に参加し、地域の方と交流を深める。 ●「金北通信」「学年通信」「学校ホームページ」で、学校の情報発信を積極的に行う。 	<p>●計画の100%を実施する。</p> <p>●計画の100%を実施する。</p> <p>●本校の教育活動が分かりやすいように目的・目標等の説明も入れ、毎日発信する。</p>	実施状況 学校アンケート	年度末	○	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生が本校入学に対して少しでも不安がないように、体験授業、部活動見学・体験の機会を作っている。(1・2月に実施予定) ●全教職員が小学校の給食見学を実施した。現在、見学アンケートを実施中である。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生の授業体験や中学校紹介・部活動見学、体験を実施し小中の連携を深めた。 ●校区の4校で情報交換を積極的に行い、課題解決に向けて小中教職員合同研修や授業交流会を実施した。●校区小学校に給食の見学に行き、次年度以降スムーズに導入できるように情報交換を行った。●生徒会、各種委員会、教員で、「校外地域清掃」を行った。 ●生徒、教員ともに3校区の行事等に参加し、地域の方と交流を深めた。「金北通信」「学年通信」「情報発信」は、毎日行い、学年・学校通信はtetoruでも発信している。

【学校長より(年度末)】 4校の校務分掌同士のつながりを大切に情報共有の機会を増やした。小学生が中学校への期待や不安、中学生が実際に中学生になって思っていることアンケート調査をしてまとめ、全教職員で共有するためにパネルディスカッション形式で意見交換して得たことがこの校区の今年度の成果となった。金岡北中学校の学校群ということ意識が、高まった1年であった。

【学校関係者評価(年度末)】 様々な方法で学校の様子を発信してくれていてわかりやすく、また、地域との関わりを大切にしながら、地域行事に参加してくれているので金北の生徒のことがよくわかる。卒業証書授与式の生徒の姿が3年間の成長だと思った。これからも今の取組を継続してほしい。